

男鹿工 4強進出

2回戦 中央、秋田南を圧倒

第86回全国高校ラグビー大会県予選第3日は18日、秋田市八橋球技場で2回戦の残り2試合を行った。男鹿工はFW戦で強さを発揮し、大館鳳鳴を完封で撃破。秋田中央は攻守



〈第3日〉

で地方の違いを見せつけ秋田南を下し、4強に進出した。第4日は21日、同球技場で午後1時から秋田―男鹿工、同2時20分から秋田中央―秋田工の準決勝を行う。

時間が続いたが、要所のノックオンが響き、ノットライに終わった。

OBとの練習実らず

部員19人。出場11人中、能代工と並んで最少のメンバー登録で初戦に挑んだ大館鳳鳴。守りを崩されての敗戦に、甲斐創主将(3年)は「悔

この結果

▽2回戦
男鹿工 32-0 大館鳳鳴
秋田中央 72-0 秋田南

村木木壁 藤野関 藤野田 浦田 木佐柏 眞加 佐小 伊安 清 野三 吉
【男鹿工】FW 藤田 隆 田 森 川 口 庭 山 地 浦 藤
石田 沢 谷 藤 田 藤 田 藤 田 藤 田 藤 田
浅石 黒 加 伊 佐 成 甲 政 山 桜 島 菊 佐 近



のモール突進を受け、次々にトライを許す結果となった。

これまでの練習は勝利にこそつながらなかつたが、成田毅志監督は試合後の選手をこうねぎらった。「少ない人数でよく頑張った。3年生の悔しさを一、二年生は忘れてはいけない」

秋田中央がFW、BKの総合力で秋田南を圧倒し、快勝した。秋田中央は前半2分、ゴール前スクラムからのサイドアタックで先制。その後も相手パントへのチャージ、モールトライ、BKの独走など多彩な攻めでトライを重ねた。

秋田南はマイボールのラインアウト、スクラムでボールを奪われる場面が目立ち、攻撃を展開できなかった。秋田中央はFW、BKの総合力で秋田南を圧倒し、快勝した。

「夢中になり過ぎた」
「……今大会初の完封勝利で準決勝に進んだ秋田中央。付け入るすきを与えない快勝にも、古谷和義監督は「花園を目指すチームの戦いではない。試合後、円陣を組んだフイフイに激(げき)を飛ばした。古谷監督が指摘したのは、密集でのFWの球出しが遅い点。BKへ好パスを供給する最初のポイントでもたついたことに、FWリレーの七尾竜馬(3年)も「夢中になり過ぎて、それが勝手なプレーをしってしまった」と振り返った。

【2回戦・秋田中央―秋田南】前半2分、秋田中央ナンバー8安藤が右中間に先制のトライを決める―秋田市八橋球技場

次は2年続けて決勝で秋田中央の前に立ちどかした秋田工と激突する。「FWの接点で負けないよう球出しを開ける」とLO武田総一朗主将(同)。FW陣は同じ失敗を繰り返さない